



# SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



鹿追町立鹿追中学校  
IBCO 奥平 和也  
2026.4.14 Vol.45

## 2026 年度もよろしくお願ひいたします！

新入生の保護者の皆様、そして在校生の保護者の皆様、ご入学・ご進級おめでとうございます。2026 度最初の鹿追中学校 IB 通信です。

私、本校で「国際バカロレア (IB) コーディネーター」を務めさせていただいております、奥平 和也 (おくひら かずや) と申します。

特に 1 年生の保護者の皆様におかれましては、「国際バカロレア? IB コーディネーター? ? ATL スキル? ? ?」と、見慣れない言葉の連続に戸惑われていることと思います。

IB (国際バカロレア) とは、一言でいえば「**予測困難なこれからの社会で、子どもたちが自ら考え、課題を解決していく『一生使える学び方のスキル』を育むための教育プログラム**」です。

え？「そんなの別に、**日本の学習指導要領でも同じように言われていること**じゃない？」ですって・・・！？　そうなんです！！  
IB の理念自体は新しいことではなく共通したものです。

が、この一文・・・言うのは易し、為すのはもの凄く難しでございまして・・・。　日本中の学校があれこれ試すもなかなか前に進めず、その場で足踏みを続けているような状況なのです。理想は分かる。だけど具体的にどうしていったらいいのか?? その様な学びを受けてこなかった大人は途方に暮れてしまいます。

**しかしこのままでは、その先の未来で困り果ててしまうのは子どもたちです。**

そこで鹿追町が、この「一生使える学び方のスキル」を確実に育むための**《手段》**として取り入れる決断をしたのが IB のカリキュラムです。今回詳細は省きますが、IB には先述の『理想は分かる。だけど**具体的にどうしていったらいいのか??**』この部分について既に数十年の試行錯誤と積み上げがあります（日本はまだ 10 年にも満たない）。

もしかすると、IB について初めて聞く方の中には直感的に「日本の勉強に加えて、更に海外の勉強でもさせられるの？」とイメージされる方もいるかもしれませんが、そうではありません。

日本の学習指導要領が目的地に向かう「ロケットの本体」だとしたら、IBの仕組みはその本体を確実に宇宙へ届けるための「ブースター（加速装置）」のようなものだと思ってください。

やることが増えるというよりは、同じ時間の中で学びの効率や効果を劇的に高めるための土台（OS）として利活用しているものです。

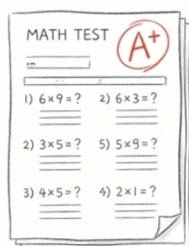


私たち教職員チームも、導入当初はこの強力な加速装置を使いこなすまでに苦労しました（まず説明書が非常に小難しいです）。しかし継続してきたこの4年間の研修と実践を通して、加速装置を伴ったロケットの操縦にも大分慣れてきました。

知識を暗記するだけでなく、学んだ知識を使って実社会の課題を解決していく生徒たちの頼もしい変化に、日々ワクワクしながら授業をさせていただいています。

## 目的地は、変化の激しい世界を「幸せ」に生き抜く力

### 正解のある問題



「 $6 \times 9 = ?$ 」「第二次世界大戦の終戦は何年?」—  
これらは「暗記と反復」で解決できる問題です。

### 正解のない問題



「町の過疎化をどう防ぐ?」  
「CO2を減らして会社に利益を出すには?」—  
世の中の「リアルな課題」には、たった一つの  
正解はありません。

IB教育の目的は、正解のない問題に対し、自分たちで  
「より良い (better) 答え」を導き出す力を育てることです。

## 鹿追中学校のIB教育がもたらす「3つの約束」



### 1. 暗記ではなく 「一生使えるスキルの獲得」

単なる知識の詰め込みで  
はなく、社会で活躍する  
ための「学び方(ATL)」を  
身につけます。



### 2. 序列化ではなく 「成長を見極める評価」

明確な基準(ルーブリック)  
で、テストの点数だけでは  
測れない多角的な才能を  
評価します。



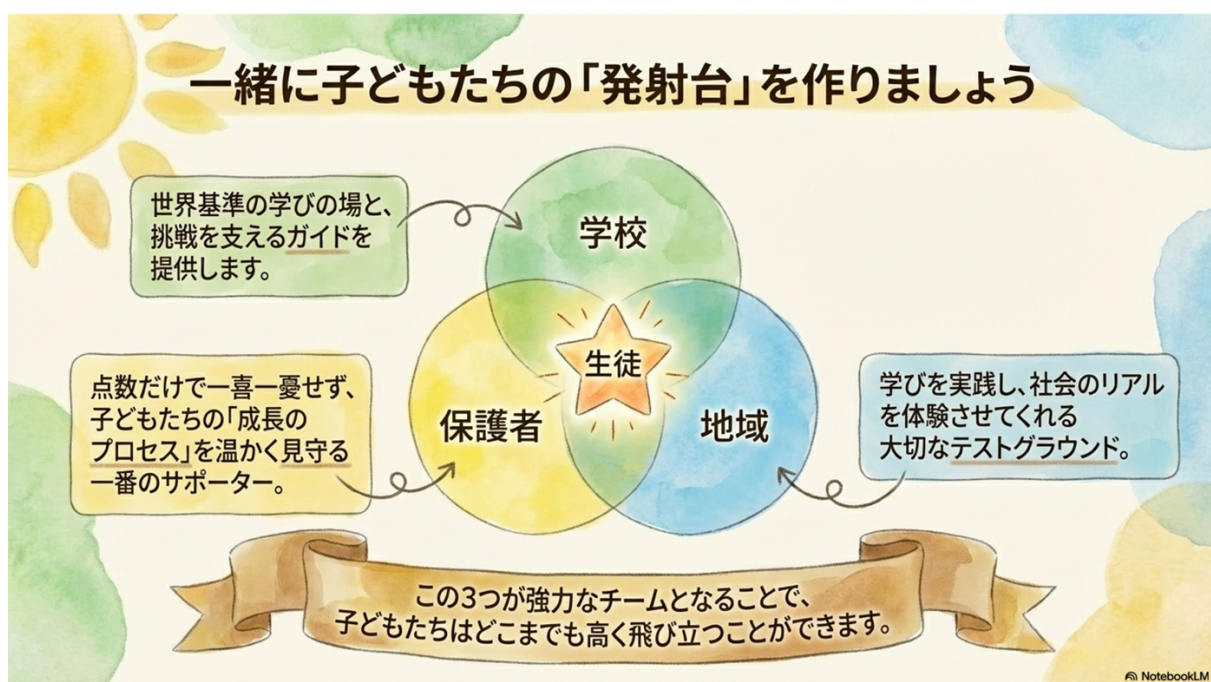
### 3. 孤立した勉強ではなく 「社会と繋がる学び」

地域の課題解決を通じて、  
自ら考え行動する喜びと  
責任を実感します。

もちろん、進む中で新たに浮かび上がってくる課題もあります。しかし**探究学習は「課題解決学習」**です。私たちは探究（＝課題解決学習）を軸に子どもたちと伴走する教師集団として、それらの課題にも真摯に向き合い、チームで試行錯誤して改善を重ねていく所存です。

そして保護者や地域の皆様にもぜひ、チームの一員として協働していただけたらと思います。**学校・保護者・地域が一体となつて子どもたちを育てる。** 学びを学校の中だけに閉じさせず、外に開いていくこともIBカリキュラムの良い特徴の一つです。

そのためにまずは、本校の教育が子どもたちをどう成長させているのか、この「IB通信」で定期的に発信してまいります。どうぞ引き続き、よろしくお願い申し上げます！



## 保護者・生徒の皆様へのお願い（写真・成果物の掲載について）

学校だよりでもお知らせがあることと思いますが、本通信および鹿追町の一貫教育ホームページ及び取材の場面等では、IB（＝探究的な学び）についての理解を深めていただくことや、子どもたちの生き生きとした活動の様子をより分かりやすくお伝えするため、写真や動画、時には生徒の成果物等を抜粋し掲載させていただく場合がございます。個人情報やプライバシーには十分に配慮いたしますが、お子様の写真や成果物の掲載について特別な配慮が必要な場合や、希望されない場合は、恐れ入りますが担任または学校までその旨をご連絡くださいますようお願いいたします。



最後までご覧いただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.1</a></p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や<b>国際バカロレアとは何か?</b>について書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.2</a></p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。<b>当日の動画や資料も見られます。</b></p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.3</a></p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた<b>参観授業（国語）をIB視点で解説</b>しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.4</a></p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を<b>《概念》</b>と絡めて書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.5</a></p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から<b>《IBで知識の定着にかける時間が減る問題》</b>に対する工夫について紹介しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.6</a></p>	<p>IB教育の大きな柱である<b>ATLスキルと10の学習者像</b>とはどういったものかについて、<b>道徳の授業実践</b>を元に解説しています。</p>

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></a></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></a></p>	<p>子どもたちが「<b>総括的評価課題</b>」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></a></p>	<p>「<b>SA</b>」「<b>CP</b>」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></a></p>	<p>「<b>SA</b>」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></a></p>	<p>「<b>コンサルタント訪問</b>」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,12</u></a></p>	<p>「<b>コンサルタント訪問</b>」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,13</u></a></p>	<p>「<b>文化祭と日常の学びの繋がり</b>」について書いています。《前編》</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,14</u></a></p>	<p>「<b>文化祭と日常の学びの繋がり</b>」について書いています。《後編》</p>

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,15</u></a></p>	<p>「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,16</u></a></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,17</u></a></p>	<p>保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,18</u></a></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,19</u></a></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,20</u></a></p>	<p>「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,21</u></a></p>	<p>「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,22</u></a></p>	<p>IBに関するPTA保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,23</u></a></p>	<p>コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。</p>

<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,24</a>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
--------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,25</a>	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,26</a>	2025 年度の IB 概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,27</a>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」と「コミュニティプロジェクト」について書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,28</a>	「体育祭」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,29</a>	2025 年度 Unit 1 の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,30</a>	「目指す生徒像」について書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,31</a>	「瓜幕中学校の視察」について書いています。

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,32</u></a></p>	<p>IB の保護者向けワークショップのご案内について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,33</u></a></p>	<p>日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,34</u></a></p>	<p>日々の取組の様子について、写真でダイジェスト第二弾です。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,35</u></a></p>	<p>授業の中で探究のサイクルを実践していくことのメリットの一つについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,36</u></a></p>	<p>鹿追町立図書館での IB の取組と探究の町として発展していくためのキーポイントについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,37</u></a></p>	<p>探究の町として発展していくためのキーポイントとして都留文科大学との交流について。そして IB 教育実習生の視点から見た本校の様子について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,38</u></a></p>	<p>本校生徒のクラウドファンディングへの挑戦について、また多方面に渡る生徒の活躍ぶりについて紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,39</u></a></p>	<p>コミュニティプロジェクト（CP）報告会のご案内と、各グループのプロジェクトタイトルについて紹介しています。</p>

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,40</u></a></p>	<p>全体懇談会の中身と、1-2学年の保護者の皆様にご覧いただいた IB の学びを経た生徒の姿について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,41</u></a></p>	<p>本校の正式な IB 認定のご報告と、IB 導入が決まってから3年間の歩みについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,42</u></a></p>	<p>文科省で記者会見をしてきたことについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,43</u></a></p>	<p>IB の学びと家庭学習、生活習慣の関係性について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,44</u></a></p>	<p>IB の学びを3年間経験した卒業生の成長した姿と、その成長を支えたものについての考察を書いています。</p>